

## とうきょう すくわくプログラム活動報告書

幼稚園番号	
園名	東京都北区立豊島保育園

### 1. 活動のテーマ

#### <テーマ>

園庭にたくさん虫がくるためには

#### <テーマの設定理由>

虫に興味のある子が多いが、園庭でなかなか虫が見つからない。花壇を掘ったりプランターや植木鉢などをひっくり返したりして、ダンゴムシを探す。やっと見つけたダンゴムシをめぐってトラブルになることもあった。年長児を中心に「なぜ虫がいないのか」「どうやったら虫がくるのか」を考えることにした。子どもたちから「園庭に虫が好きな花がないからこないのでは」という話が出た。

### 2. 活動スケジュール

- ・ どうやったら虫が集まるのか、年長児で話し合う。  
→ 子どもたちから「園庭に虫が好きな花がないからこないのでは」という話が出た。
- ・ 虫に詳しい人に相談するー北区 みどりと環境の情報館 エコベルテの生態研究員に依頼し虫が集まる環境について話をしてもらう。  
→ 話を聞き落ち葉や草を集める。
- ・ 腐葉土置き場を作り、虫の集まる環境の土台を作る。
- ・ 花壇を整備し花を植える。

### 3. 探究活動の実践

#### <活動の内容>

- ・ 活動のために準備した素材や道具、環境の設定
- ・ 活動中の子供の姿・声、子供同士や教諭との関わり 等を記載ください。

#### (活動のための準備)

- ・ 花壇の整備（ランタナ、千日紅、パンジー、ブロッコリー、キャベツを植えた）
- ・ 園庭やプランターに落ち葉を集めることでダンゴムシが集まる場所を作った。
- ・ 虫取り網や虫かごを用意し虫を捕まえて観察できるようにした。
- ・ 外部講師に助言をもらい自転車置き場にある花壇を活用し、バタフライガーデンを造る。

#### (子どもの様子)

- ・ 5歳児が2歳児にダンゴムシのいそうな場所を教え、一緒に探していた。
- ・ 花壇に花を植えるため、5歳児が腐葉土を運び土作りをした。
- ・ 園庭のみかんの木についたアゲハチョウの幼虫を見つけ飼育ケースで育て、幼虫→さなぎ→アゲハチョウへと成長していく様子を観察した。（2～5歳児）
- ・ 冬期間は園庭で虫を見つけることは難しいが、電子顕微鏡・電子黒板を使い、図鑑の虫や園庭の植物を見て楽しんでいる。



(2歳児と5歳児で虫探し中)



(花壇の土づくり)



(アゲハチョウになったよ！)



(電子黒板に大きく映して観察)

#### 4. 振り返り＜振り返りによって得た先生の気づき＞

- ・どんな虫にきてほしい？その虫はどんな所にすんでいるの？何が好き？気になることを友達と話し合ったり、自分なりに調べて探究したりする姿につながった。
- ・子どもたちの目的とする虫は呼び込めなかったが、園内に腐葉土置き場や花壇などの環境を整備することで、生物に触れる機会がふえた。昆虫を怖がっていた子も環境を用意することで少しずつ触れるようになっていくという経験が園内でもできた。
- ・虫がどこにいるのか年長児に聞いたり、見つけた虫を年下の子に見せに行ったりするなど異年齢の関わりが広がった。
- ・花壇を整備したことで虫だけではなく、花や植物にも興味を持つ子が増えた。
- ・子どもたちと虫や植物を調べたり、外部講師に助言をしてもらったりすることで、どのような環境作りをしていけばよいか、保育士の学びにもつながっている。